

広土会新聞

第29号

2025.3.1 発刊

発行所 広島工業大学 広土会
〒731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1
TEL 082-921-3121

2024 年度を振り返って



広土会会長
石井 義裕

近年、日本全国で地震や水害などの大規模災害が多発する時代になり、土木技術者の役割は今まで以上に多岐にわたり、より重要となってきています。このような時代の移り変わりの中、2024年には土木系学科が創設60周年を迎えました。昭和40年に創設された土木系学科として還暦を迎えることができたことは、同窓生・在学生の皆様のおかげと感謝申し上げます。さらに、広土会においては3年後の2028年に60周年を迎えます。次の世代へのバトンタッチがスムーズに行われること、新たな考え方を加えた広土会が一層みなさまの活躍できる場や役立つ会になることを願っています。

広島工業大学では、2025年春より3学部11学科に再編となります。工学部においては「電子情報工学科（電子情報工学コース、臨床工学コース）」「電気システム工学科」「機械情報工学科」「環境土木工学科」「建築工学科」の5学科体制となります。

環境土木工学科におきましては、従来の土木工学技術を基礎とし、DX時代に適応できるような学習プログラムを展開していきま

す。新しい教育プログラムの実施においては、同窓生の皆様のご理解とご尽力が不可欠です。どうぞよろしくお願いいたします。

環境土木工学科の近況を御報告申し上げます。現在、伊藤 雅先生を学科長とした14名体制で教育・研究にあたっています。2024年には、今井厚先生（健康科学）、風早悟史先生（英語）、岡崎泰幸先生（地盤工学）が着任されました。2025年3月には11年間にわたり物理学の講義や卒業研究の指導を行っていた大村訓史先生（物理学）が愛媛大学へ移動されます。また、改組に伴い複数の教員の学内での異動も行われます。高藤政典先生（数学）におかれましては、環境土木工学科で10年にわたり学生指導ならびに学科運営にご尽力を頂きましたが、この春より電気システム工学科に移動となります。なお、環境土木工学科の2年次以上の学生については引き続き教育や指導をお願いしています。今井先生におかれましては、この春より新しくできる食健康科学科へ移動となります。また、4月からは石橋和葵先生（数学）が電気システム工学科より環境土木工学科に来られます。

村中先生におかれましては、2025年度も引き続き測量学実習・建設工学実験・設計製図をはじめとする科目において実験・実習の

指導をお願いしています。小堀先生には引き続き客員教授として学生の資格取得（特に技術上1次試験）にご尽力を頂いており、小堀塾の受講者が在学中の資格合格に結びついています。

設備面については2024年秋には新2号館にエレベータが設置され、地階の実験室から4階の研究室・ゼミ室への移動が大変スムーズになりました。

2024年度は定員70名のところ47名の入学生となり、学科全体では在籍学生が268名となっています。2025年3月に卒業生する予定者は約90名となっており、本学大学院への進学者は2名、他大学大学院（博士課程）への進学者（予定）が1名いる状況です。

同窓生の皆様のご尽力も有り、就職率は100%近くとなり大変感謝申し上げます。大学院修了者の就職においても、是非ともよろしくお願い申し上げます。現在、就職活動に励んでいる現3年生は66名、大学院1年生は2名おり、大学院進学者希望者も数名います。引き続き、学生・大学院生の就職へのご協力・ご支援をお願いいたします。（なお、人数はすべて2024年5月時点のデータです）

最後になりますが、広土会会員の皆様の益々の発展とご健康を祈念して、挨拶とさせていただきます。

明るく伸びる



株式会社 伏光組

代表取締役 伏見 光暁

本社 〒734-0013 広島市南区出島1丁目33番61号

TEL (082) 253-6161 FAX (082) 254-4581

(支店) 松江 (営業所) 三次



総合建設コンサルタント

株式会社 ヒロコン

代表取締役社長 下 花 眞 二

本社 〒734-0011
広島市南区字品海岸三丁目13番28号
TEL (082) 250-8515 (代表)

洋ようと 伸びのびと 夢をかたちに



洋伸建設株式会社

代表取締役 山本 晴樹

本社 〒730-0012 広島市中区上八丁堀4-1 TEL (082) 511-4520
アバンビュランドタワー7F FAX (082) 511-4521

営業所 福山・呉・廿日市・山口・四国・九州

事業所 黒嶽

ホームページ <http://www.yoshin-const.co.jp/>

退任挨拶



退任の挨拶

環境土木工学科 准教授
大村 訓史

広土会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本年2月末日を持ちまして、約11年間務めさせていただきまして広島工業大学を退職することとなりました。私は、2014年の4月に広島工業大学都市デザイン工学科の物理担当教員として着任いたしました。それまで土木には全く関わったことがなく、まさに素人同然でした。着任間もない頃、ある学生が突然、「4年の〇〇と言います。物理の先生が新しく来られたと聞きました！公務員を目指しているので、物理を教えてください！」と研究室を訪れてくれたことを、今でも鮮明に覚えています。それから、その学生と同じく公務員を目指す彼の友人らが毎日のように私の居室を訪れてくれるようになりました。彼らのおかげで、はじめての広島生活、そして全く触れてこなかった分野の学科教育という大きな不安を抱えた中でも、明るく充実した教員生活をスタートすることができました。彼らには感謝してもしきれません。また、それ以降も土木の教員として11年間多くの学生と関わる機会に恵まれ、11年間本当に楽しく過ごすことができました。これもひとえに、学生たちのおかげであり、心より感謝申し上げます。

また近年は研究室を構えて卒業研究、修士研究の指導にも携わってきました。自分が土木のことをあまり知らないため、学生と一緒に勉強しながら研究を進めるという形で、時には学生には迷惑をかけてしまうこともあったかと思えます。ただ、そんな状況でも学生は懸命に研究に取り組んでくれました。その姿は、自分自身の研究活動にも大きな刺激となりました。また、研究室の学生たちの就職活動に関しては、私が業界に詳しくないにもかかわらず、多くの卒業生の皆様のお力添えのおかげで、安心して学生を送り出すことができました。本当にありがとうございます。

私の実家は熊本地震で被災しました。復興までの過程を間近で見守る中で、「社会にとって不可欠な存在」としての土木の重要性を強く実感しました。広島工業大学では、土木教育や土木技術者の育成に携わることができ、大変光栄に思っています。着任当初は土木について全く知識がありませんでしたが、今ではすっかり土木の「ファン」になりました。このたび愛媛大学に移ることとなりましたが、今後も何らかの形で土木に関わっていく所存です。引き続き、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、広土会の皆様の益々の発展を祈念いたしまして、退任の挨拶とさせていただきます。

新任挨拶



新任のご挨拶

環境土木工学科 講師
岡崎 泰幸

2024年4月に環境土木工学科に着任いたしました「岡崎泰幸」と申します。どうぞよろしくお願いいたします。専門はトンネル工学、岩盤工学です。

着任前までは松江工業高等専門学校（2017.4～2024.3）に勤めておりました。教育・研究に励んでおりました。研究については、主に山岳トンネルの設計・施工・維持管理に関する研究に取り組んでおりました。例えば、トンネルの不安定要因を考慮したトンネル掘削解析に基づくリスク評価やトンネルの維持管理に資する坑内環境の調査などを行ってまいりました。教育面では、高等専門学校には高校生年代も在学していることから、授業の他に学生の生活指導なども数多く行ってまいりました。授業・研究の他に、学生の生活指導や部活の引率などがあるため、大変目まぐるしい日々でしたが、学生との距離が近く学生の成長が身近に感じられる大変働きがいのある職場でした。

上記のような日々を過ごしておりましたが、私の出身地が岩国市ということもあり、自身が育った地域に貢献できるという思いから、広島工業大学に異動してまいりました。広島工業大学は、私が子供の頃からCM（もしかして広工大）を見ていた大変なじみのある大学です。本大学でも引き続き教育・研究に邁進していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

話は変わりますが、一教員として近年の土木業界の人手不足（高齢化、若手人材の不足）が大変気になっています。働き手の高齢化が進行しながら若手人材が不足している現状で、今年度からさらに労働時間の上限規制が施行されています。このような中で果たしてうまく技術の継承ができるのだろうか若輩（34歳）ながら心配しております。このような状況を少しでも改善するためにも、微力ながら土木業界の認知度を向上させ、興味を持ってもらう取り組みや、技術の継承に役立つツールをつくる取り組みなども行っていく所存です。近年では、デジタル技術が目覚ましい進歩を遂げていますので、そのような技術（VR技術等）を用いて上記の取り組みを行い、社会に必要とされる土木技術者を1人でも多く輩出できるように励んでいきたいと考えております。

トンネルやデジタル技術を用いた上記のような取り組みに興味がありますので、知見を有する方などいらっしゃいましたら是非お声掛けください。産学連携で少しでも地域貢献ができればと思っております。皆様、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



新任挨拶

環境土木工学科 准教授
風早 悟史

2024年4月に着任いたしました風早と申します。このたびは、広土会新聞への寄稿の機会を与えて頂き、誠にありがとうございます。遅ればせながら、ご挨拶申し上げます。これまで、岡山、三重、山口の大学で主に一般教養の英語教員として勤めてきました。広島工業大学でも、環境土木工学科の学生を中心にしながら、全学の教養英語を担当しております。専門分野は英語文学で、日本では小泉八雲の名前でもよく知られているラフカディオ・ハーンを軸にして、英語文学の日本語への翻訳について研究をしています。小泉八雲といえば「耳なし芳一」、「耳なし芳一」といえば『平家物語』です。平家にゆかりの深い広島で、

しかも宮島が見えるところで研究に取り組めることがとてもうれしいです。

日本語と英語の翻訳文学を読み比べていると、それぞれ外国語に翻訳しにくい言葉や表現によく出会います。「土木」もその一つだと思います。翻訳の研究をしていながら恥ずかしいことですが、環境土木工学科に着任するまでは、「土木工学」が英語では「civil engineering」といわれることを知りませんでした。civil engineering＝市民のための工学という、その英語の意味はわかりやすいですが、私は日本語の「土木」という言葉が好きです。土木も、人間が生きていくためにはなくてはならない自然です。人間のための道路や橋や港の建設・開発も自然環境とのつながりにあることを、この言葉は常に意識させてくれるように思います。

学生たちには、英語の勉強を通して言葉への感性を磨いてほしいです。英語に限らず、外国語を学んでいると、母語を外から見ようになり、言葉をより自覚的に使うようになります。それは、大学を出てさらに広く他者とコミュニケーションをとりながら仕事をしていく上でもとても大事な姿勢だと思います。

広島工業大学には、専門科目だけでなく、多彩な教養科目も用意されています。私も語学・文学の教員として、教養教育のさらなる充実に取り組みたいと思います。SF小説が示しているように、文学には文系／理系の区別はありません。学生たちに負けないよう、私も文学研究者として専門以外の知識・教養を深めていきたいです。先生方には、今後ともご指導賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

支部だより



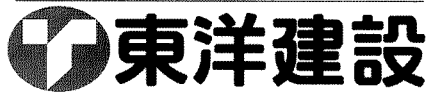
近況報告

関東支部 会計（28期生）
吉本 忠浩

2019年から関東支部の会計を任されている28期生の吉本と申します。広土会会員の皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

現在私は、㈱フローリックというコンクリート用化学混和剤を販売する会社で働いています。1996年に入社して気づけば29年の時が過ぎました。転勤も経験させていただき、山口県岩国市→埼玉県東松山市→山口県岩国市→福岡県福岡市→茨城県つくば市→埼玉県東松山市と各部署で様々な経験を積んできました。業務内容は、福岡県で一度営業職を経験しましたが基本技術職の部署を多く経験しており、現在も東日本技術センター（埼玉県）という技術職の部署に在籍しております。業務内容は、コンクリート用化学混和剤を使用したコンクリートの性状や耐久性の評価および顧客（生コン工場やゼネコン等）からの要望による製品改良に日々取り組んでおります。近年は新たな業務への取り組みも同時並行で行っており、新たな取り組みとしてコンクリート構造物の「調査・診断業務」を開始しようと模索しています。コンクリートで作られている構造物は、定期的に点検して修繕する必要があり、今後「調査・診断業務」の需要は増加していくと考え、弊社も新事業開始の準備を進めています。生コンクリートに関しては専門家のつもりですが、調査・診断に関しては勝手が違い

夢から感動へーハートテクノロジー



中国支店長 藤野 智亮

中国支店：広島市中区銀山町3-1 ひろしまハイビル2111F

TEL:082-567-5051 FAX:082-258-5757

ソーシャル・レジリエンス実現企業として
～安全・安心・快適、そしてその先へ～

MASUOKA

増岡組

広島 広島市中区鶴見町4番25号 TEL 082-504-5050
呉 呉市中央一丁目6番28号 TEL 0823-21-1441
URL <https://www.masuoka-g.co.jp/>

皆様からの信頼を財産に



八光建設工業株式会社

本社 〒732-0052 広島市東区光町2-4-23

Tel(082)262-8166(代) Fax(082)263-8189

<https://hakkokensetu.co.jp/>

分らないことだらけで、毎日苦勞しながら勉強の日々を送っておりますが、新しいことにチャレンジするのは何歳になっても新鮮でもあり、苦勞が報われることを祈るばかりです。

2020年1月から新型コロナウイルス感染症の広がりによって、2019年に一度広土会関東支部総会を開いて会計就任の挨拶をして以来、支部総会を開くことが困難となっていました。2024年5月ようやく5年ぶりに、第27回広土会関東支部総会および懇親会を開催することが出来ました。来賓に特別会員の十河先生を迎えて、総勢13名で久しぶりの懇親会を楽しみました。参加いただいた広土会会員様の中には2期生、3期生の大先輩も多く、元気にコロナ過を乗り越えられ嬉しいかぎりです。先輩方の中には定年後も働いている方も多く、皆様とてもパワフルで、現役世代の私たちももっと頑張らないといけないと勇気を頂きました。一方で若い方の参加者が少なく関東支部を今後、さらに盛り上げていくためにも若い方に参加いただける方法を模索していかなければと考えさせられます。

最後になりますが、広島工業大学および広土会の益々の発展と広土会会員の皆様のご健勝を心よりお祈り致します。



近況報告

関西支部 支部長（21期生）
河内 正彦

広土会新聞第18号に「大阪での25年間」と題して投稿させていただき、早10年以上が経過してしまいました。あの直後に建設コンサルタントへ転職することとなり、相変わらず慌ただしくしておりましたが、あと2年で定年を迎えるタイミングで関西支部長を引き継ぐこととなりました。5代目支部長の川岡様(14期性)には長期にわたってお疲れ様でした。3年前から名古屋へ単身赴任の身ではありますが、積極的に盛り上げたいと思います。

とは言いつつ、新しく関西へ就職されている方も少なからずおられるとは思いますが、新卒生との接点もほとんどなく、支部員が減っていく傾向なのは寂しい限りです。私も仕事にかまけて行事にあまり参加できていなかったのも、今度は大阪へ帰る口実として参加していきたいと思っています。

仕事関係の近況報告というか最近感じていることですが、建設業界全般に言えることかもしれませんが、①有資格者の減少、②若手の離職者が減らない、③管理職がゲーム化している、といった状況で将来が心配になります。最近ではテレビのニュースや特番でも橋梁点検や補修工事の話題をちよくちよく目にするので、社会の関心は高いはずなんです。唯一身近で明るい話題は、娘がこの4月から社会人になり、どう影響を受けたのかは不明ですが私と同じような建設コンサルタントへ就職が決まり橋梁を希望しているということです。ただし、ライバル会社に行くんですが、終盤の同業者としては、これからの社会基盤を担う技術者になって欲しいと思っています。

仕事以外では、60歳で一旦区切りをつけたく定年以降の楽しみに向けて、志向を巡らせています。橋梁関係の仕事はあと10年くらい続けるつもりですが、学生時代に本当は何をしたかったのかを思い出し、それを実行するために少しずつ準備を進めています。やっておけばよかったこ

との一つが大学時代サイクリング部だったのですが、昔の自転車で日本一周をすることです。他にもやりたいことがいっぱいあるので、体力づくりのために登山も始めました。

最後になりますが、今所属している会社では、広島工大はおろか広島出身者に会ったことがないので、関西支部の行事では唯一大学時代の昔話ができるいいところです。特に、広島から離れているだけに、これからはもっと大切にしたいと思っています。



近況報告

広島支部 支部長（26期生）
新田 勉

広土会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年度より、前佐藤支部長の後任として、広島支部の支部長を務めさせていただくことになりました平成6年卒業第26期生の新田と申します。大変身の引き締まる思いであり、微力ではございますが、支部を盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。昨年、広土会創立55周年記念事業が、皆様方のご協力のもと、盛大に開催されたところであり、今後、60周年に向け、豊富な知識と経験をお持ちの諸先輩方をはじめ、皆様方と力を合わせ、広土会の更なる発展に向け取り組んでいく所存です。

私は、大学卒業後、広島県へ入庁し、本庁では、技術企画課、道路整備課、砂防課や東広島、廿日市などの地方機関に所属し、社会インフラの整備・維持管理に従事してきました。特に広島県道路公社では、瀬戸内海に架かる安芸灘大橋や第二音戸大橋などの長大橋の建設や、東日本大震災の復旧・復興支援のため福島県に派遣され、津波で被災した港湾・漁港施設の災害復旧事業へ従事したことは、非常に貴重な経験でした。この間、多くの広土会の諸先輩方にご指導を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。プライベートでは、在学中は広工大サッカー部に所属し、今でもサッカーを続けており、ここ数年は、少年サッカークラブの指導者として、地域の子供達と一緒にボールを蹴って楽しんでいます。子供達の無邪気な笑顔を見ると、元気付けられます。老体にムチを打ちもう少し頑張りたいと思います。

さて、近年、全国各地におきまして、異常気象に伴い土砂災害や浸水被害が発生し、尊い人命や財産が失われており、南海トラフ地震などの巨大地震の発生も危惧されています。本県においても、皆様方の記憶にも新しい戦後最大級の被害をもたらした平成30年7月豪雨や令和3年7月・8月豪雨など、多くの広土会会員の皆様が、“故郷広島”の早期の復旧・復興に向け、熱い気持ちを持ってご尽力されたのではないかと思います。また、私は、リクルートも担当しており、様々な学校で説明の機会がありますが、少子の影響による「担い手不足」を実感します。本来であれば、激甚化・頻発化する災害対応、公共土木施設の老朽化の加速度的な増加、デジタル技術の進展など、土木技術者の役割はますます重要になってくるにもかかわらず、将来を担う土木技術者が激減しています。広土会会員も若手の減少や広土会離れも見受けられ、いかに、土木技術者の業務や役割に関する情報発信や、在学生への技術力向上に向けた支援を行い、広土会の役割の重要性を理解し

て頂く活動も重要になってくると思います。皆様方におかれましては、これから広土会や広島支部の活動にご参加、ご協力、ご指導をお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

最後になりますが、広島工業大学及び広土会の益々の発展と会員の皆様のご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



近況報告

広島西支部（23期生）
石田 秀文

広土会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。広土会広島西支部23期の石田と申します。

地元広島で土木コンサルタントの営業をしています。土木工学科でコンサルに就職する人は技術者となる人が多い中、なぜか営業部に所属しております。土木業界の厳しい競争の中、日々受注のために精進しております。仕事の中に感じることは、実に多くの大学の先輩、後輩が地元広島土木業界に携わっておられるということです。国、県、市町などの官公庁をはじめ、ゼネコン、コンサル、メーカーなど、さまざまです。私は営業となつて人に接することの大切さを実感し、人を知ることが何より財産だと思い、積極的に広土会活動にも参加してきました。私が感じるのは、広土会の先輩はとても魅力的な方が多いです。みんな広島工業大学のあの坂を上がり、同じ学舎で学び、同じ食堂で食事をしてきたのだと思うと、とても親近感がわいてきます。営業としてこの人脈を生かさないと手はないと思います。仕事を通じ、人を知ることによって自分の人生が豊かになっていると感謝している今日この頃です。

さて広島西支部の近況を報告いたします。令和6年4月5日に広島西支部の総会及び懇親会を行いました。広土会より村中先生に来賓として参加いただき総勢20名でピッツェリアアカナダカン廿日市店の2階を貸し切りに行いました。参加メンバーは大きく変わりませんが年に一度、仕事の垣根を越えて親交を深めています。元気な顔が見れるのが何よりの楽しみです。広島西支部は廿日市・大竹市に在住もしくは、勤務されている方を会員としています。どこの支部もそうだと思いますが、若い会員の参加がなかなかありません。広土会新聞を見て興味のある方はぜひ広土会に連絡してください。よろしく願います。

思えば、広島西支部の設立は平成13年でしたので、今年で24年となります。前任の事務局8期の川下さまから段取りを引き継ぎました。設立当初は今のようなメールなどは活用していませんでしたので、電話やFAXで案内していました。FAXの前でジーゴロゴロという音を聞きながら人数分送付していたことを、懐かしく思い出します。これからも広土会広島西支部をしっかり盛り上げていきたいと思っています。

最後になりましたが、広土会の益々の発展と、会員の皆様のご活躍、ご健勝を心よりお祈り申し上げます。



株式会社 神崎組

代表取締役社長 神崎 文吾

本社
TEL
FAX
支店
事業所

姫路市北条口三丁目22番地
姫路(079)223-2021(代表)
姫路(079)281-8191
大阪
敦賀・三木・岩国

SMART
CONSTRUCTOR

進化するケンセツ

KATO
Construction Co., Ltd.



道路埋設指針 建設大臣認定擁壁

P Cボックスカルバート ザ・ウォール(H=5.0m)

株式会社 マシノ

本社	〒733-0822 広島市西区庚午中1-19-23	(082) 507-2757 (代)
東広島営業所	〒739-2312 東広島市豊栄町別府270	(082) 432-4132 (代)
福山支店	〒720-0805 福山市御門町2-5-39	(084) 925-8855 (代)
岡山営業所	〒700-0962 岡山県岡山市北区北長瀬表町2-3-25-202	(086) 805-0703 (代)
山口支店	〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1130	(083) 973-3533 (代)
江津営業所	〒685-0003 島根県江津市松川町下河戸188	(0855) 55-0124 (代)
本店	〒699-5133 島根県益田市神田町口615	(0856) 25-2380 (代)
工場	広島・益田	



近況報告

広島東部支部長 (24 期生)
高見 浩司

広島会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、古谷支部長の後を受け、今年度より広島会広島東部支部 支部長を務めることとなりました第 24 期生の高見浩司と申します。若輩者で、これまであまり広島会の活動に参加しておりませんでしたが、微力ながらできる範囲で活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。

私は、広島工業大学を卒業後、平成 4 年（1992 年）から地元（広島県福山市）の建設コンサルタント会社に 9 年間勤務し、主に土木構造物の設計に携わりました。その後、平成 13 年（2001 年）から実家の高見建設株式会社（土木建設業）に入社、平成 20 年（2008 年）に代表取締役就任し、現在に至ります。わが社は福山市、広島県の公共事業（主に道路、河川等）の土木工事をメインに、民間の造成工事、外構工事等も行っています。また、前職を生かして、測量や土木設計と土木工事の両方に対応できる会社を目指して営業しています。また、近年では ICT 活用工事にも力を入れています。3 次元起工測量（UAV 測量）から 3 次元設計データ作成、3D マシンガイダンス付バックホウを使った土工等を自社で手掛けています。今後は 3 次元レーザ計測等にも対応していきたいと考えています。今後は、土木業界の先端技術に対応できる設備の整備と人材の確保が課題となっています。興味のある方はいつでも声掛けをお願いします。

さて、広島東部支部では令和 6 年（2024 年）9 月 21 日（土）11 時より、尾道ふれあいの里にて支部総会が開催されました。コロナの影響もありますが、支部総会は 18 年ぶりの開催となりました。総会では、村中先生を来賓にお招きし、16 名の出席者により、活動報告、会計報告、役員改選等を行いました。その後、懇親会を行い、皆様の自己紹介、近況報告、普話等で有意義な時間となりました。今後は定期的に総会を開き、一人でも多くの会員の方に参加していただけるようネットワークを広げていければと考えています。

最後になりますが、広島工業大学及び広島会の益々の発展と広島会員の皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

事務局だより

広島会の活動は会員の会費納入で運営されています。同封の広島会会費の納入と連絡先確認のお願い用紙の会費納入欄の右欄の〇年〇月の〇が空白、会費未納あるいは期限切れの方はこの点を御理解いただき、会費の納入をお願い致します。終身年 3 月の方は会費の納入の必要はありません。

また、22 期生の方は会費 5,000 円納入で終身に移行できますので納入の方よろしくをお願いいたします。

広島会のホームページのアドレスは下記のとおりです。広島会記念事業等を閲覧するには、パスワードが必要となっております。パスワードは下記のとおりです。入力間違いないようにお願いいたします。

広島会新聞は会員の情報誌です。今年度は、7 期生－50 周年、17 期生－40 周年、27 期生－30 周年、37 期生－10 周年、47 期生－10 周年を迎えます。記念祝賀会等を行われる場合には事務局にご連絡をいただければご協力いたします。

皆様からの情報、ご意見、ご感想をお待ちしております。FAX、またはメールでご連絡下さい。広島会新聞に投稿記事があれば併せてお願いいたします。

*事務局には専属の事務員がいません。恐れ入りますがご連絡等は FAX かメールにてお願いいたします。

HP アドレス : <http://www.kodokai1968.jp/>

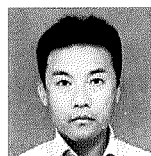
パスワード : kodokai2014

FAX (082) 921-8976 E-mail : kodokai@cc.it-hiroshima.ac.jp



「広島県北支部 近況報告」

広島県北支部 事務局 (29 期生)
和田 賢



皆さま、ご無沙汰しております。広島会 広島県北支部事務局の「和田 賢（まさる）」(29 期生)と申します。

私が広島県北支部に入会して、もうすぐ 22 年になります。國原宏明 支部長（10 期生）、加藤雅樹 副支部長（16 期生）のもと、三次市、庄原市、府中市、安芸高田市エリアなど在住の会員がメインとなり、広島会本部を交えての毎年の定期総会および親睦懇親会、支部会員による親睦研修旅行、他県支部との合同交流会など様々な活動を行っています。親分肌で大変に情が熱い大大先輩をはじめ、多くの諸先輩方や後輩が参加してくれています。ここ数年は私よりも若手が中々入会してくれていないのが現状であり悩みの種です。大学側におかれまして、私達の年代が在学中にとってもお世話になった顔なじみの先生方のほとんどが退官され、とても寂しい限りです。

令和 2 年からコロナウイルスが蔓延したこともあり、現在は支部の活動が休息状態ですが、今年の 8 月には広島県北支部 創立 35 年を迎えます。支部として節目の年で、今年こそは活動を再開したいと強く想う今日この頃です。

工大土木の後輩諸君へ！これからの広島会を是非とも若手の方で盛り上げて頂きたい。広島会各支部への入会や広島会本部の周年イベントに積極的に参加して頂きたい。工大土木の大先輩方は後輩をとてまかわいがってくれます。親分肌で情が熱い先輩方が多く、後輩がピンチの時

はきっと心強く助言して下さると思います。大変ありがたい存在であり、この出会いは、かけがえのない財産です。広島会の活動やイベントの中でたくさんの OB の方々と出会い、工大土木の熱い想いと POWER を感じて頂きたい。心からそう思います。

今年が皆様にとりまして、巳の如く新たに脱皮し、無き前例を打ち破り、新しいことに挑戦できる良き年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。



近況報告

島根県支部 幹事 (35 期生)
石飛 満利

広島会員の皆様こんにちは。私は島根県支部で幹事をしている第 35 期（平成 14 年度）卒業の石飛と申します。

大学を卒業して島根県庁に就職し、早いもので 22 年が経ちました。現在は県庁の出先機関である浜田県土整備事務所において、道路・河川・砂防事業や災害復旧事業を担当しています。久しぶりの単身赴任生活、少し寂しい気持ちもありますが、せつかならと単身生活を満喫しています。

近年、全国的に大災害が多数発生しています。記憶に新しいところでは令和 6 年 1 月に能登半島地震が発生し、主に石川県をはじめとした北陸地方に甚大な被害をもたらしました。私は自治法派遣により、令和 6 年 7 月から 9 月の三ヶ月間、石川県職員として災害復旧業務に従事しました。

派遣された石川県の羽咋土木事務所は、管内に震源地の志賀町を有し、管理施設は約 380 億円（R6.8 時点）の大きな被害を受けていました。赴任当時、幹線道路は応急復旧がほぼ完了していたものの、市町村道路等の生活道路は発災から半年経過してもなお、道路の不具合箇所カラーコーンを設置するなどの注意喚起のみで供用するなど、応急復旧工事さえ手付かずの箇所が多数ある状況でした。私が島根県内で経験した災害の復旧進捗とは明らかに異なり、最大震度 7 の甚大さが見てとれました。

私の石川県での業務は、毎月 1 回ある災害査定に向けた資料作成および査定受験でした。私はこれまで災害復旧業務に携わった経験はありましたが、各自自治体で定めている基準に違いがあること、タイトなスケジュールで必死に追われることなどから赴任当初は苦労しましたが、石川県のプロパー職員をはじめ、4 月から赴任している他県からの応援職員に助けられながら、何とか業務を終えることができました。また、国から派遣された災害査定官からきめ細かなアドバイスを頂けたことはもとより、説明を終えた担当者一人ひとりに感謝と激励の言葉をかけて頂けたことがとても印象的でした。

大規模な災害が発生すると、時間に追われ神経が磨り減る思いになりますが、その度に、土木に携わる仲間達に助けられ、また、目標を共有することにより一体感を感じることが出来ます。私が土木屋を続けている理由なのかもしれません。

三ヶ月という短い期間ではありましたが、石川県に派遣されて再認識したことは、大災害はどこでも起こり得ること、被災県のみでは対応しきれないという事実です。一人では何もできない土木分野だからこそ、助け合いながら困難を乗り越えたいと改めて感じているところです。最後になりましたが、広島会の益々のご発展と会員皆様のご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し、近況報告とさせていただきます。



山陽工業株式会社
SANYO CONSTRUCTION CO. LTD

代表取締役 鈴江 克彦 (S62年3月卒)

広島市中区十日市町1丁目1-9 〒730-0805
TEL (082) 232-6471 FAX (082) 291-2233
<http://www.landingsanyo.co.jp/>

総合建設業
占部建設工業株式会社

おかげさまで100周年

100th
SINCE 1920

代表取締役 占部 寛

本社 〒720-0816 福山市地吹町18番16号
TEL(084)922-1254 FAX(084)922-1276
広島支店 〒738-0004 廿日市市桜尾二丁目8番3号
TEL(0829)32-1224 FAX(0829)32-8779
井原営業所 〒715-0022 井原市下出部町二丁目22番4号
TEL(0866)67-1300 FAX(0866)67-1215

総合建設業



心の映像カタチにします

代表取締役社長 前川 拓也
〒733-0035
広島市西区南観音7丁目14番20号
TEL 082-293-8500
FAX 082-295-8231
営業所 岩国

